国際交流センター通信34

東京家政学院大学
国際交流センター
International Exchange Center
Tokyo Kasei Gakuin University International Exchange Center

難民支援のための“100円バザー”を開催しました

2022年5月に町田キャンパスで、6月に千代田三番町キャンパスにおいて、ウクライナ等難民支援のためのバザーを開催しました。

いまだ激しい戦闘が続き、紛争によって命が脅威にさらされているウクライナの避難民の方々、そして、ウクライナに特定せずに難民の方々への支援として、「100円バザー」を開催いたしました。当日は、学生サークル団体のボランティアサークルぺぐみ、手話サークル、フットサルサークル、吹奏楽部、千代田ボランティアサークルと教職員が協力しながら運営に当たり、両キャンパス合計で77,257円（バザー収益金と寄付金の合計）となりました。

▲千代田三番町キャンパスのバザーの様子

両キャンパスのバザー収益金と寄付金の全額を国連UNHCR協会に送り、ウクライナへの緊急募金、難民支援として寄付いたしました。国連UNHCR協会では、難民の方々の命と生活を守ることを目的に、毛布や食料品に代えて送付されるとのことです。

皆さんの難民の方々への気持ちが届きますことを心より願っています。

後期イベント予定

□海外協定校 短期研修＆短期交換留学説明会
町田キャンパス、千代田三番町キャンパスともに、10月6日(木)12:20から
→詳細は4面にて

□難民映画上映月　11月
→詳細は2面にて

□第16回スピーチ・リサイタル開催（旧名外国語スピーチ･コンテスト）
12月3日(金)　オンラインで開催
→詳細は2面にて

本学が目指す国際交流

1　他者を国籍、民族、性別、年齢などの枠で判断するのではなく、同じ人間として心を開き、相手の人権を尊重することができる。

2　自国文化も他国文化も数ある文化の中のひとつとして客観的に捉えることができる。

3　国際情勢に関わる情報の本質を理解することができる。

4　本学で展開してきた知識体系の蓄積を発信することで国際社会に貢献できる。

5　よりよい社会および世界を構築するために、自分ができることを見いだし、実行していくことができる。

英語サロンに参加しています！とにかく楽しい！

▲ 山田さんとルイス先生

2022年度前期に英語サロンに参加した山田陽香さん(児童学科3年)に、インタビューしました。

Q 英語サロンに参加してみようと思ったきっかけは？
A もともと海外に興味があって英語を勉強したいとは思ってたんですけど、苦手だったから、やり方がわからなくて。偶然、英語サロンの案内を見つけて、「よし！やってみよう！」と思いました。しゃべったら、どうにかなるかなと(笑)。

Q 実際に参加してみてどうでしたか？
A 私の場合、0からという感じだったので、最初は難しかったですけど、単語だけでも、身ぶり手ぶりでも、やりとりができるということが、とにかく楽しくて！マーク先生は、フレンドリーだし、よくほめて下さるので、自然に「話してみよう」という気になりました。

Q 英語サロンに参加して変わったことはありますか？
A はい、あります！自分でも英語を勉強するようになりましたし、海外に行って現地の人と話をしてみたいという気持ちがますます強くなってきました！

山田さん、ありがとうございました。英語が話せると自分の世界が広がりますね。これからも頑張って下さい。

→後期の英語サロンについては４面参照

Q 文化の違いについての発見はありましたか？
A いろいろありました。一番印象深いのは、うどんに生卵を入れると話した時のマーク先生の激しい反応です！それを見て、アメリカでは生卵は食べないということが分かりました。

▲ 授業とは違った雰囲気で楽しくおしゃべり

第16回スピーチ・リサイタル　スピーカー募集

12月3日（土）に第16回 スピーチ・リサイタルがオンラインで開催されます。スピーカーとして出場を希望する方は、以下の要領で申し込んで下さい。希望者には指導もつきますので、是非チャレンジして下さい。海外協定校の学生と交流して異文化に親しむチャンスです！

【内容】下の(1)(2)の部門はいずれも本学の全学生、海外協定校学生に出場資格があります。

(1) 日本語弁論部門
次の5つのテーマから1つ選び、自分が伝えたいことを母語が日本語以外の方にもわかりやすい日本語でスピーチします（5分）。

①私の思い出の一着 ②私の国のお正月料理
③持続可能な生活に向けた取り組み ④私の国の子ども事情
⑤みんなが平和で発展する社会に生きるために

(2) 海外体験弁論部門
次の3つのテーマから自分が伝えたいことを日本語もしくは英語でスピーチします（5分）。

①海外体験から得たもの／こと ②海外に滞在して考えたこと
③海外で出会った大切な人」

【申し込み】
QRコードから11月19日（金）までに申し込んで下さい。
(1,200字程度の原稿を添付)。

11月は難民映画上映月

11月には、いくつかの授業で次の難民映画が上映されます（上映される授業では担当の先生から案内があります）。

「ミッドナイト・トラベラー」

「それでも僕は帰る シリア 若者たちが求め続けたふるさと」

12月からは、図書館での個人向け貸出しも始まりますので、ぜひご利用下さい。

私の異文化・海外体験　第13回
経験って大事

新海　公昭（児童学科）

2004年7月初めて1人で海外に出かけた。7月（ハンガリーのブダペスト）と9月（フィンランドのヨーエンス）の学会参加のために、2か月間の生活費を現金で携えて。修士課程 1 年生だった私はアジア経由の「南回り」の格安航空券を買い、途中トランジットでマレーシアのクアラルンプールで1泊した。

翌日、ホテルから空港へ向かう途中、行きかう車をすり抜けて横切らねばならない道幅の大きな道路があり、どうしたものかと手をこまねいていたところ、私と同年代と思われる娘さんが「一緒に行きましょう」と声をかけてくれ、娘さんとそのお父さんと思われる方と一緒に渡った。娘さんはちょうど 2 週間前に大好きな日本に遊びに行ってきたと言い、私を家族に紹介したいと言う。

私自身は、得意でない英語でコミュニケーションをとることができている自分に舞い上がっており、「ぜひ」と返答した。道路の脇に停められていた車に乗り、その後・・・すべての現金をとられてしまった。首にかけていたドイツのフランクフルト行きの航空券とパスポートを残し、空港前にて車から落とされた。

頭が完全にショートしてしまった私はフランクフルトに着くまでの間の記憶が全くない。コレクトコールで家族に事情を話し、「日本にすぐ帰国したい」と伝えたところ、母は「すぐに帰っておいで」とのことだったが、横から父が「そんな程度のことで帰ってくるな」と言った。その時は、父親に大変憤りを感じたが、今は感謝している。

その後、改めて 2 か月間の生活費を送金してくれ、学会発表も無事終えることができた。この経験は研究室の語り草となった。この 2 か月の経験は「用心深さ」を身につける必要性を教えてくれただけではなく、「人の温かさ」を痛感した。

フランクフルトでは銀行の方が、お金の送金方法や家族との連絡の取り方の詳細を丁寧に教えてくださった。ドイツのボンにて合流した恩師と奥様には、大変おいしい手料理をご馳走になった。用意してくださっていた 3 人分のお米を私がすべて食べてしまったことは今でも話題にあがる。

父は、決してお金持ちではないが、お金で解決できることはお金で解決すればよいので、お金で解決できない経験を大事にすることを教えてくれた。

博士課程が修了する 2009 年まで毎年のように夏休みと春休みの長期休みは海外の学会発表に出かけた。

イタリアのヴェネツィアではお金をすられたりといろいろとあったが、少しずつ成長したように感じる。フランスのシャモニでは、研究室の先輩たちと登ったエギュイユ・デュ・ミディ展望台からみたアルプス山脈は今でも目に焼き付いている。

何事も経験に勝るものはないと感じている。

▲フランス・シャモニのエギュイユ・デュ・ミディ展望台から、
先輩方と一緒にアルプス山脈をのぞむ

いろいろ募集中です（本学学生対象）

秋の夜長に国際交流！

アメリカの大学生とメール交換

アメリカ合衆国の Florida International University で日本語を学ぶ学生と楽しくメール交換します。

【申し込み先】

【申し込み期限】10 月 7 日（金）

日本語会話パートナー

東京家政学院大学で学ぶ留学生と日本人学生が出会い、オンラインでいろいろおしゃべりしながら、お互いの文化を知るチャンスです。

【申し込み先】

【申し込み期限】10 月 7 日（金）

マーク・ルイス先生と英語サロン

マーク・ルイス先生と英語で、日常のことを楽しくおしゃべりします。英語のレベルは問いません。申し込み不要です。都合の良い日にご参加下さい。

◇町田キャンパス
曜日と時間：水曜日 12:20 ～ 12:50
開　催　日：10 月 5 日・12日・19日・26日
11 月 2日・9日・16日・30日
12 月 7日
場　　所：附属図書館 1 階

◇千代田三番町キャンパス
曜日と時間：金曜日 12:20 ～ 12:50
開　催　日：10 月 7 日 ・ 14日・21日・28日
11 月4日・18日・25日
12 月 2日・9日
場　　所：1114

→２面「英語サロンに参加しています！とにかく楽しい！」参照

言語チューター

中国語、日本語を学びたい学生と、教えたい学生が 1 対 1 で学び合う制度です。（オンラインでも可能）

応募資格
◇中国語
＜習 う 人＞本学学生であればどなたでも
＜教える人＞中国語母語話者の本学学生

◇日本語
＜習 う 人＞本学学部 1 ～ 4 年生の留学生
＜教える人＞日本語母語話者の本学学生

【申し込み先】

【申し込み期限】10 月 7 日（金）

海外協定校に留学する

本学海外協定校での短期研修＆短期交換留学に関する説明会を開催します。興味のある方はご参加下さい。

【開催日時】10 月 6 日（木）12:20 ～
町田キャンパス・千代田三番町キャンパスとも。

【場所】いずれのキャンパスも場所は電子掲示板・本学ホームページ「トピックス」にてご案内します。

【申し込み】教室で参加する場合は不要です。
・千代田三番町キャンパスはオンライン同時配信を予定していますので、ご希望の方は 10 月 5 日（水）まで、お申し込み下さい。

本学学生が参加できる現地プログラム
□中国
吉林外国語大学（吉林省長春市）
・中国語＆中国文化短期研修
□韓国
釜山女子大学校（釜山広域市）
・韓国語＆韓国文化短期研修
・短期交換留学
韓南大学校（大田広域市）
・韓国語＆韓国文化短期研修
・短期交換留学
□アメリカ合衆国
カリフォルニア州立大学モントレーベイ校
・アメリカの言語＆文化短期研修
・短期交換留学
□タイ
コンケン大学（コンケン市）
・調査、研究

※タンロン大学（ベトナム・ハノイ市）も本学の海外協定校ですが、本学学生が現地で参加できるプログラムはありません。

発行・編集
東京家政学院大学　国際交流センター
〒194-0292 東京都町田市相原町2600 TEL 042-782-6908
国際交流センター通信 第34号　2022年10月1日
https://www.kasei-gakuin.ac.jp/action/community_how.html